



かたはSP学生Office

教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と
新たな「学生と学校のWin-Winの関係」の構築

かたはSP通信

と
ひ
と
ツムぐ学生

第4号

2017年4月11日

編集 小島穂佳
(SP大学4年)

2017年4月11日(火)

かたはWSP (ウィークリーSP)、初めての取材!!

今日は、さえりSP、さいかSP、私の3人で活動しました。



さえりSPは、1時間目から4時間目まで1年生の教室に入って担任の先生の補助をしていました。

この写真は、さえりSPが1年生と上靴を置きに行く場面です。よそ見をしながら歩いている児童がいました。その児童にさえりSPが「先生と目が合わない子いないかな。」と声をかけていました。すると、全員がさえりSPのことは静かに歩いていました。

「前を見なさい」ではなく、声のかけ方を工夫することで、注目を惹きつけることができるということを学びました。



さいかSPは1時間目から4時間目まで身体測定の補助に入っていました。

検査に来た児童の前に立ち、次に行われる検査の説明をしていました。

さいかSPがいることで、児童は「見られているという意識」が働き、静かに待つことができました。

今後、児童が自ら考え、T(時間)P(場所)O(場合)の判断ができるような支援をしていきたいです。



イラスト：sozai no puchi-chi より